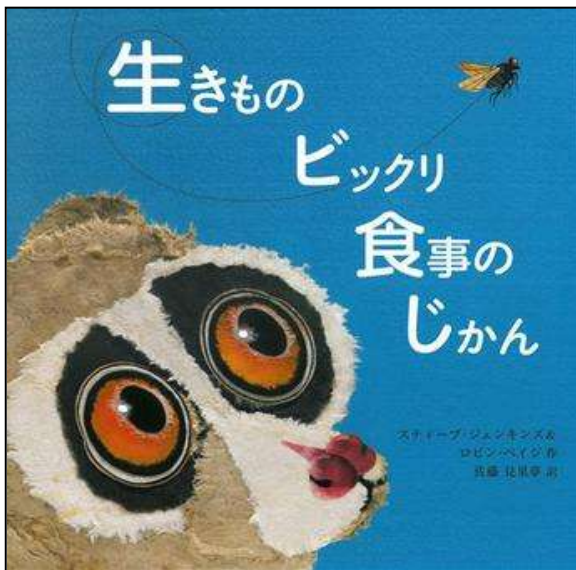


こんな本よんでみましょう

2016 夏

1. 『生きものビックリ食事のじかん』(E3-4)



ちきゅうじょう
地球上のさまざまな生きものたちが、生きるため
にあみだしたおどろきの方法が、美しい切り
ええが
絵で描かれている科学絵本。
かがくえほん

どうやって さかな
魚をつかまえているの？

どうやって たまごをまもっているの？

どうやって あなをほっているの？

きみの知らない生きものたちの知恵の世界を
のぞいてみよう！

かんまつ くわ
巻末に詳しい解説もついていますよ。
かいせつ

2. 『ゆらゆらチンアナゴ』(E3-10)



みなさんは チンアナゴを見たことがありますか？ わたしは この本をよんで、すぐにも水族館に行って チンアナゴを見たいなりました。ミミズみたいなヘビみたいなこのせいぶつ
生物、れっきとした さかな
魚なのです。

水族館に行く前に まず本で 出会って
はいかがですか？
であ

5. 『リッランとねこ』 (アロ)



ある日 小さなリッランという女の子が、ねこに会いました。ねこは リッランがまたがると、たったか かけだしました。そのはやいこと はやいこと。おんどりが、ぶたが、がちょうが、 リッランが通りがけると こわがってにげていくほど。ねこは リッランをどこにつれていくつもりなのでしょう……。つぎつぎにあらわれる人や、どうぶつ。 シンプルでユニークな絵が みものですよ！

6. 『ペンギンペペコさんだいかつやく』 (JA ニシ)

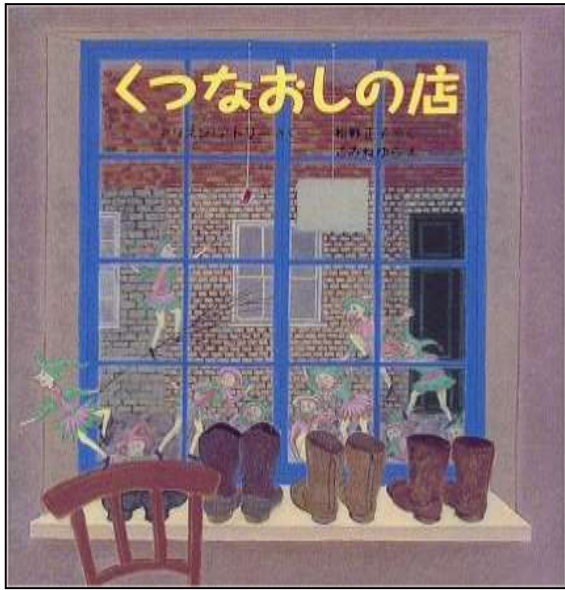


マリンすいぞくかんで生まれたペンギンのペペコさん。このすいぞくかんで、「ペンギン^{がっこう}学校のさんかんび」というショーが大にんきです。ペペコさんも、このショーにでられるように、すう字をおぼえるれんしゅうをしています。まだ小さいペペコさんは、どうしてもすう字が おぼえられません。

「やくにたつってなんだろう？」ある日、そうおもったペペコさんは、やくにたつをさがしに町へでかけます。

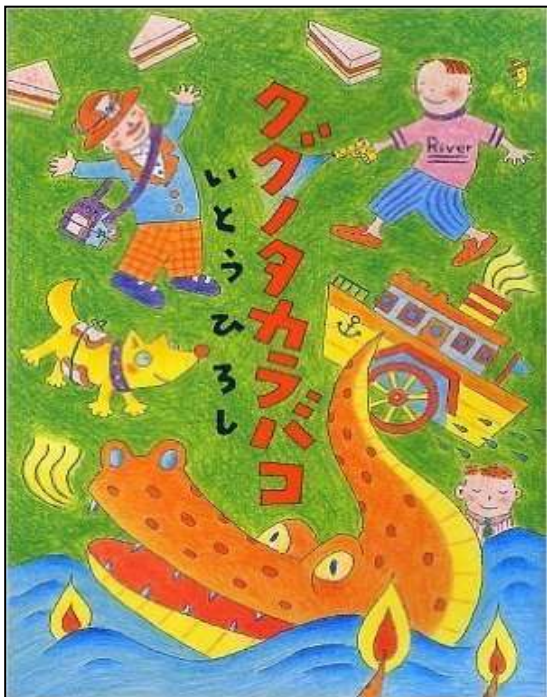
そこでペペコさんがみつけたものは・・・？

7. 『くつなおしの店』 (アト)



くつ^やのニコラスじいさんは、足の不自由^{ふじゆう}なポリー・アンのために、やわらかい赤い皮で、とてもはきやすいくつを作りました。そして、ほんの少し残^{のこ}った皮で、小さなくつを作り「人形のくつ。手づくり。妖精^{ようせい}にぴったり」というカードをつけて、店先に飾^{かざ}りました。すると、次々とふしぎなことが、おこるのです。そして、みんなにしあわせがやってきます。

8. 『クグノタカラバコ』 (イト)

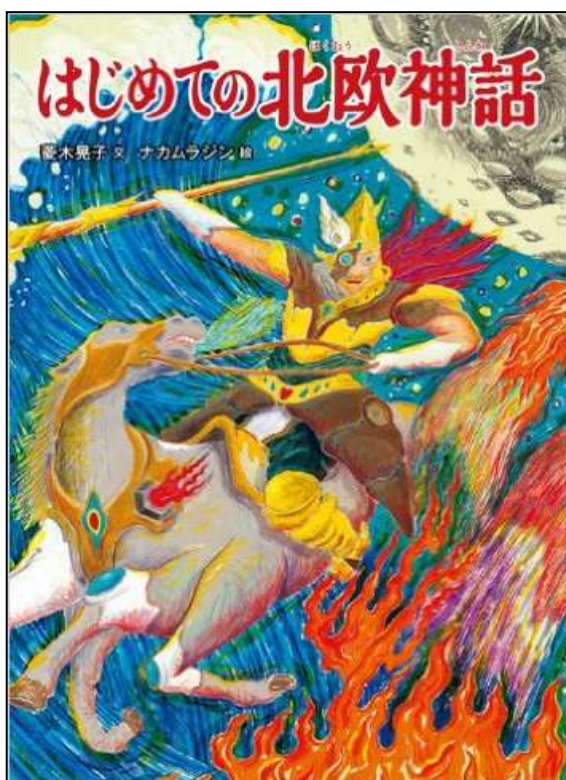


「クグノタカラバコ」というのは、迷子^{まいご}になった人にしか行けない博物館^{はくぶつかん}のことです。世界中^{たい}を旅してまわった、クグが集めた貴重^{きちょう}な品々と、それにまつわる楽しいおはなし。

貴重なものってどんなもの？ 船と乗客^{じょうきゃく}を守る水でっぼう、不思議^{ふしぎ}なパワーのある食パン…???

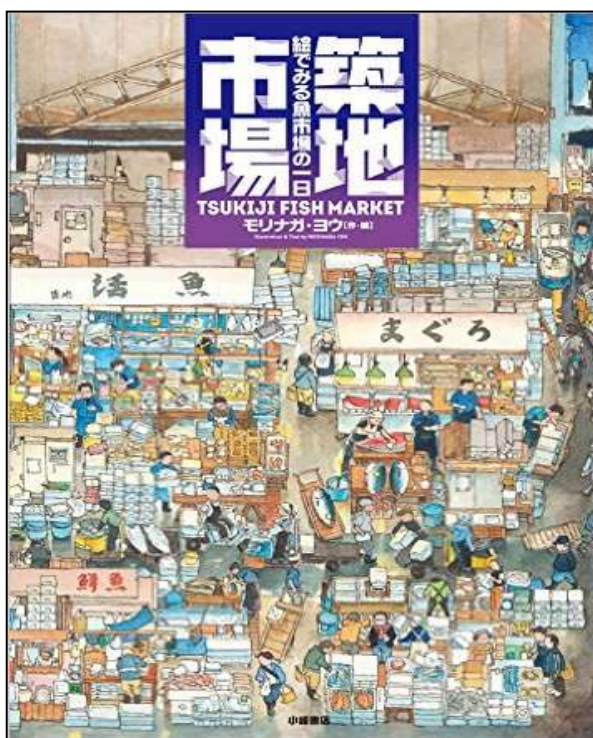
知りたい人は読んでみるしかないね。フッフッフ…。

9. 『はじめての北欧神話』(ハジ)



神々の主オーディン、無敵の雷神トール、美しい女神フレイヤ、戦士の宮殿バルハラ、戦乙女バルキューレ、大蛇ヨルムンガルド、巨大狼フェンリル、世界の中心にそびえる宇宙樹、ほろびの日の巨人族との戦い…ゲーム(『パズル&ドラゴンズ』とかね)、漫画(『進撃の巨人』とかね)、アニメ…どこかで聞いたことのあるキャラと設定、元ネタはここです！北ヨーロッパに古くから伝わる神話の、おもしろいところを集めてやさしく書いた本。もっと読みたくなった人には、あとがきにおすすめ本が紹介されてますよ！

10. 『築地市場』(67)



ひと晩にトラック8,000台分もの魚が集まる、日本一の魚市場、築地市場。魚が市場に届くところから、ならべられ、「せり」にかけられ、売られて買われて積み重ねて運び出されて…あとかたづけまで、市場の仕事のすべてをすみからすみまで、こま〜かくイラストで解説。はたらいている人たち、使われているめずらしい道具、走りまわるいろいろな車…見るたびに発見がある、日本一の市場を日本一くわしく描いた絵本。

11. 『^{じんるい}人類の^{れきし}歴史を作った船の本』(55)



人を運び、作物や家畜^{かちく}を運び、魚をとり、戦いの道具となる…人類^{じんるい}最古^{さいこ}で最大^{さいだい}の発明のひとつ、船。

川をながれる丸太からはじまって、手こぎ、風力^{じょうき}、蒸気^{じょうき}、ディーゼル^{ディーゼル}、原子力^{げんしりょく}…と、文明が船を発達させ、船が文明を進歩させた。切っても切れない、人類と船の歴史をくわしいイラストで解説^{かいせつ}します。

バイキングの船、^{けんとうしせん}遣唐使船、コロンブスのサントマリア号、ダーウィンのビーグル号、黒船サスケハナ号、^{ごうかきやくせん}豪華客船タイタニック、^{せんかんやまと}戦艦大和…さまざまな船の、海より深〜い知識^{ちしき}をえることができます。豆知識^{まめちしき}や用語^{ようご}解説^{かいせつ}も充実^{じゅうじつ}。読めばこの夏、船旅に出たくなる?!

12. 『てがみはすてきなおくりもの』(81)



“てがみ”書いてますか?

メールやラインでのやりとりもあるけれど、てがみってもらおうと なんだかとっても うれしいものです。

そんなてがみに、いろいろな出し方があるって知ってるかな?木の葉^はや海でひろった貝^はがら、ガチャポンのケースでも、あて名をつけて切手をはれば、すてきな”てがみ”にへんし〜ん!!

たのしいアイデアがいっぱいのこの本を読めば、きっと だれかに てがみをだしたくなりますよ!

13. 『フクロウ探偵 30 番めの事件』 (マシ)



フクロウの女探偵エリナー・アウルはこれまでに29もの重大事件を解決してきた名探偵です。その名探偵が夏休みをとるために助手のねこのポーズとやって来たホテルで次々におこるあやしい事件・・・。

犯人はだれ?? エリナーの推理が光ります! 世にも美しいめんどり、うぬぼれやの金持ちぶた、病弱なコヨーテなど個性豊かなホテルのとまり客にも注目ですよ!

14. 『アヤカシさん』 (トミ)

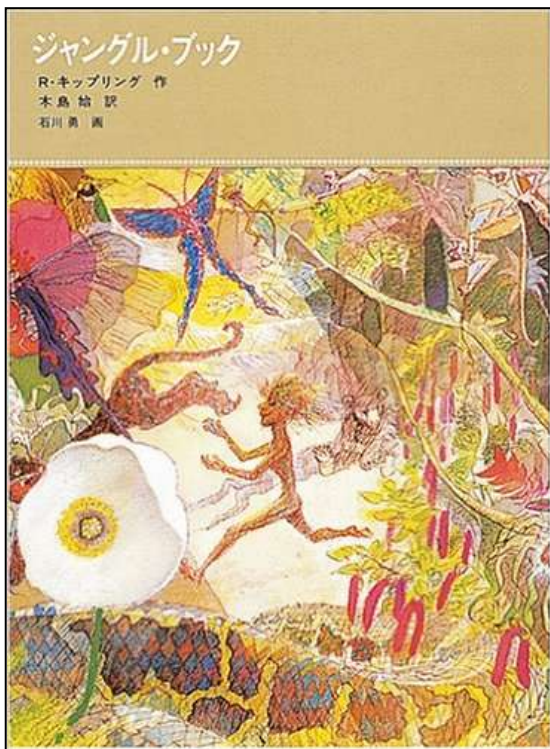


「おまえにも、わしが見えるのか。わしは、アヤカシじゃ。」

ある日突然、見えないものが見えるようになったケイ。同じように見えるらしいメイおばさん（まだ大学生だけど）は、「しゃべっちゃ、だめ。知らん顔してなさい!」というけれど、ついつい相手にしてしまう。そうして、アヤカシにかかわるうちに、導かれるようにたどり着いた場所で、ケイは大切な人の秘密、アヤカシが本当に願っていたことを知る・・・。

ものに宿った思いが人と人をつなぐ、時を超えた物語。

15. 『ジャングル・ブック』（キッ）



トラに襲^{おそ}われた人間のキャンプから、ヨチヨチとおおかみのほら穴にやってきた赤ん坊、それが主人公のモーグリです。モーグリはやさしい おおかみの家族に守られ、親切で賢^{かしこ}いぞうのバルーに、森の掟^{おきて}を教わります。黒ひょうのパギーラも、強い味方です。森の動物たちは代々、掟^{おきて}を守り平和に暮らしているのです。その平和を乱すものと、モーグリは戦います。それがトラや赤犬であっても、人間であっても・・・ワクワクする冒険の物語です。ところで、ジャングルって、インドのジャングルのことですよ。